

新規事業・イノベーション - サステナビリティ起点で考える人材育成

- ・ 事業開発を要件とせず、産業社会におけるサステナビリティを考えるための「思考法」習得を重視するワークショップ。
- ・ 各人の意思を優先したテーマ設定・需要家へのプレゼンテーション実施を支援（結果的に事業にも波及）

サステナビリティ/ESG推進室



既存事業からソリューションプロバイダへの転換を根付かせたい。本社部門としてのESG推進組織では、事業開発に関する人的・資金的支援まではミッションとしていないが、ESGやサステナビリティの考え方の社内浸透は必要不可欠。

参加者



部署を複数に絞った中での公募による有志30名程度

プロジェクト概要



- ① 日本総研よりスマートシティ×サステナビリティを巡る論点を提示する
- ② スマートシティ化の背景にある社会課題について、自社アセットの活用によってSDGs達成に貢献し得るビジネスアイデアをバックカスティング型ロジックモデルで整理し、グループ・参加者で共有する
- ③ ②の結果、自分の現状の所属部署との関連の有無を問わず、個人として深堀をしたい社会課題を選び、アウトカムを精査する
- ④ 過疎に近い地方都市を招聘・プレゼンを行い、意見交換を行う

本事例のポイント



- ・ 事業開発を要件とせず、取り組みテーマを各人の意志を優先することで、社会課題を起点とする「考える」プロセスを習得
- ・ “社会課題”の描写や深掘りのプロセスでは、事前課題を組み合わせ個人レベルで時間をかけた後、グループ内・グループ間で共有することで、新たな気づきを得る

出所：日本総研作成